

令和元年度 第2回長野市文化芸術振興審議会 会議録（概要）

日 時 令和元年 11 月 25 日（月） 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場 所 長野市役所第一庁舎 7 階 第二委員会室

出席者 委 員：荒井(清)委員、荒井(慶)委員、石坂委員、金澤委員、小林委員、
齊藤委員、杉山委員、角居委員、多田井委員、若山委員

長野市：事務局（文化スポーツ振興部文化芸術課）倉島部長、内山課長
倉島補佐、久保係長、竹之内係長

教育委員会事務局文化財課 小柳課長

《資料》

資料 1 第二次長野市文化芸術振興計画

資料 2 第二次長野市文化芸術振興計画（概要版）

資料 3 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 令和元年度版

資料 4 令和元年度 文化芸術振興事業予算の概要

資料 5 長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例

1 開会

2 委嘱書の交付

3 部長あいさつ

4 委員・事務局自己紹介

5 役員の選出について

委員互選により会長に齊藤委員を選出

会長の指名により職務代理に金澤委員を選任

6 会長・職務代理あいさつ

7 議事

(1) 第二次長野市文化芸術振興計画の概要について

(2) 第二次長野市文化芸術振興計画 事業計画 実施状況及び事業計画について

(3) 今年度の文化芸術振興事業の概要について

(事務局)

〈議事(1)～(3)について一括説明〉

(会長)

ただいまの説明について、ご質問、ご意見はありますか。

(A委員)

事業計画には内容を知らなかった事業も多々あった。

周知に関して、SNS等の活用についてはどのようなになっているか。

(事務局)

市の公式なものとしてはHP、ツイッターがあり、行事等、できるだけ掲載するようにしている。ただし、市のツイッターはフォロワー数が少なく、少し発信力が弱い現状である。インスタグラムも始まっているので活用しながら様々なところで発信していきたい。

(B委員)

振興計画には「良好な景観の形成」について、規制的な記載ないが、景観保全の観点から何か事業をやっているならば教えてほしい

(事務局)

景観保全は、景観協定や各地のエリアごとに規制があり屋外広告などの規制がかかっている。

(C委員)

「景観賞」について、経費をかければ立派な建物等はあるが、地域の皆さんが長年にわたって作り上げたような景観を、もう少し幅広く選定されるような機会が増えると思う。

(事務局)

「ながの百景」として、広く市民に募集をしたことがある。ご意見については担当課につなげる。

(D委員)

御開帳という節目となるが、何か計画はあるか。

又、文化財については、見ていただく事と文化財を守るという異なる目的の調和を取りながら多くの人に訪れていただくことが大事だが、どのように考えるか。

(スポットライトをあてるだけでも文化財が傷んでしまうこともある)

「らしさ」という言葉がある。例えば「松本らしさ」というと音楽の都というイメージがある。長野市について「長野らしさ」とはどういうところと考えるか。

(事務局)

次回の御開帳にどのようなことを行うかについては、まだ未確定なことも多いが、今回は文化芸術課で「文化芸術によるおもてなし」をしようということで、準備を進めているところである。

各関係機関と足並みをそろえて情報の発信を行っていきたい。

文化財を見ていただくことも、今後、ご意見をいただきながら進めていきたい。

「長野らしさ」についてだが、一つは「伝統芸能」と感じている。市内には250を超える獅子舞の団体がありこれだけ広く地域に根付いているのは「長野らしさ」だと思う。又、今年初めて「伝統芸能こどもフェスティバル」を開催し、もっと広い意味での取り組みも進めている。

二つ目には、「長野は公民館活動がとても盛んだ」と言われている。前回の御開帳や表

参道芸術音楽祭、街角アート&ミュージックも公民館活動などから始まったサークルが毎年 300 団体以上出演いただいて、文化芸術プログラムを展開していただいており「長野らしさ」と感じている。

(D 委員)

長野の「祇園祭」について、交通事情等で長野市内のすべての屋台は曳行していないが、お寺を中心に発展した珍しいまちである長野で行われる祭りをどのようにしていくかというのも「長野らしさ」の発信という意味で大事なのでは。

又、松代の真田宝物館を訪れると、たくさんの資料があり驚く。まだまだ、色々なものがあると思うので、それらも展示されると面白いと感じている。

(事務局)

祇園については、全国的にもこれほど多くの屋台があるのは珍しいといわれている。立派な彫刻が施された屋台を文化財に指定したいという話はあるが、屋台の行事を残していくという無形の文化財としての価値があると思うので、文化財に指定することもさることながら、活動の方で御開帳に向けて何か準備できないかと考えている。

松代については松代文武学校が来春には建物のリニューアルが完了し、「体験する」「学ぶ」といったテーマの中身の整備も 7 月に終わるため、御開帳の一つのコンテンツになると思う。又、再来年の春、横田家住宅の修理完了も見据えて、情報発信の方法や HP の内容のリニューアルを図っていきたい。

宝物館についても未整備の資料を順次整備し、公表できるように進めていきたい。

(A 委員)

県のゆかりの作家の展示も北信エリアの作家が多く、長野は美術（アート）の印象が強いが、長野市には市の美術館はなく県の美術館である「信濃美術館」がある。

県の美術館と連携してのイベントの企画や、アートそのものの価値を周知することができないか検討されたい。

(E 委員)

善光寺への来訪者は善光寺を参拝すると帰ってしまう。せっかく信濃美術館が新しくなって、公園や駐車場も整備されるので、公園まで足を運ぶような交通の手段を考えて、郊外の屋外彫刻なども城山公園に集めて公園、美術館、善光寺の魅力が一つになるように検討してほしい。

(C 委員)

野外彫刻について大変多くの作品が設置され、親子連れが彫刻を訪れ、親しんでいる姿も見る。せっかくの彫刻がたくさんの人の目にふれるよう考え、必要に応じ移転も検討してほしい。又、安庭の彫刻について、地滑り後に移転されているが、谷の中で見にくいので移転できないか？

(事務局)

野外彫刻は、設置する際に作家にその場所のロケーションにあったものを作成してい

ただいている経緯もある。なお、安庭の彫刻については作者の現地確認いただいた上で、現在の位置に移設した経緯があるのでご理解いただきたい。

彫刻の情報発信では、城山エリアの彫刻には、携帯電話をかざすことで彫刻の情報を取得できる「ピコッとリンク」を試行し、気軽に彫刻に親しんでいただく取り組みも始めた。

彫刻めぐりでは、今年は応募数も非常に多い状態であり、今後少しでも多くの方楽しんでいただけるように工夫していきたい。

(B委員)

野外彫刻は、一般の人にはあまりなじみがないと思うが、「ポケモン GO」のスポットに指定されているものがあり、写真や名前など情報が確認できる。そのようなところから情報が広がっている事例もある。(自治体に限り申請できる制度もある) 子供だけでなくお年寄りも多くやっているので良い宣伝になると思う。

(事務局)

アプリなどから情報を取得できるような取り組みも面白いと思うので事例などあればご紹介いただきたい。

(F委員)

伝統芸能については後継者不足が大きな問題である

文化芸術は豊かな子供づくりという目的もあり、小中学校(学校教育)の中で伝統芸能等を取り入れていくような施策はできないかと思う。

(G委員)

今回「伝統芸能こどもフェスティバル」もあったが、そのようなものをきっかけに何か子供たちに広がっていくとよいのだが。

(F委員)

「伝統芸能こどもフェスティバル」も一過性のものでなくしっかりと学校の中に根付いてほしいと思う。クラブ活動でも伝統芸能に取り組みたいというお話もあるが、学校教育のなかでも是非取り組んでほしいと思う。

(事務局)

地元の保存会の方が主体となって学校の授業で取り組んでいる事例もある。

ただし、(転勤などがある)先生方に地元の活動をご理解いただくのは、なかなか難しいので、地元の保存会に子供会などがあると、うまく連携できると思う。

地元の皆様にご理解をいただいてのことであるので、長い目で進めていければと思うが、やりたいというお話があれば積極的に検討していきたい。

(F委員)

そのような取り組みをあちこちで断片的になるばかりでなく、一体的に進められるように後押しされたい。

(H委員)

「長野らしさ」ということでは、伝統芸能を1つの目玉にしたいと考えている。

来年の東京オリンピックや御開帳などを、長野市の伝統芸能を知っていただく機会としたい。

獅子舞フェスティバルに刺激を受けて休眠していた保存会が活動を始めた事例もあり、保存会同士で教えあえる交流も推進して、伝統芸能が「長野らしさ」につながっていくとよいと思う。

(I委員)

善光寺を来訪した方からは「善光寺以外にどのようなスポットがあるか」という問い合わせが多いので信濃美術館にもう少し行きやすくなると良いと思う。

「祇園祭」については、金銭面のほか人手不足が深刻で毎年参加するのが大変なのが現場の状況であるため、開催の間隔をあけて力を蓄えてやるというのも検討しては思っている。

(事務局)

町中に人がいないというドーナツ化現象が拍車をかけているというのが現状である。組み立て作業を大学生に手伝っていただいているモデルケースもある。ただし全体についての金銭面と人不足については「参加を定期的に行う」、「他のまちの方に手伝っていただく」など解決策を考えていく必要もある。

(J委員)

子どもたちが心豊かに育っていくため、又高齢者や心に悩みのある方等のケアなどにも、芸術文化に「感銘した」とか「心が洗われた」という場面が、もう少し継続的（定期的）にあると良いと思う。

又、高齢者の方は出不精になるので補っていければ良いと思う。

(F委員)

野外彫刻めぐりについて、学校の子供たちがバスを使って行うのもよいのではと思う。

(事務局)

次回は2月下旬に予定をしている。引き続きよろしくお願いします。本日はありがとうございました。

8 その他

9 閉会